



# ASC養殖場基準 パブリックコンサルテーション (第5回)

2022年3月



Aquaculture Stewardship Council  
[www.asc-aqua.org](http://www.asc-aqua.org)

# はじめに



## 趣旨

- ASCは、ASC養殖場統一基準に関する過去最大規模の公開協議を3月1日に開始します。

## 期間

- 2022年3月1日～4月30日

## 取り扱うトピック

- すべての養殖場基準（養殖魚の福祉を除く）
  - 原則1: 法令遵守と効果的なビジネス管理
  - 原則2: 環境の持続可能性
  - 原則3: 社会的責任

## 公開協議を行う理由

- ASCは、適正実施規範に沿った基準策定と保証プログラムの開発に取り組んでいます。ASCは、国際社会環境認定表示連合(ISEAL)の正会員です。



# ASCが目指すこと



---

提案の**ASC養殖場統一基準**が、水産養殖業が抱える持続可能性に関する主な問題を**利害関係者の期待**に沿った形で解決されているかどうかを確認する。

---

**ASC養殖場統一基準**が適用される範囲について、フィードバックを得る。

---

提案されている**指標・判定基準の文言**が適切かどうか評価する。

---

現在開発中の領域の方向性について、意見や追加情報を求める。

---

すべての生産システム、地域、種、養殖場の規模において、**適用性と一貫性**についての知見を得る。

---

指標が**実施可能か、監査可能か**どうかについての知見を得る。

---

今回の統一基準は、11種の魚介類に個別に対応している従来の基準を統合し、それに置き換わるものであるという認識を広める。

---

利害関係者との関係をさらに深めるための機会を提供する。

# 利用者のメリット



## 一貫性

**ASC養殖場統一基準**は、現在の11の種別認証基準に代わるものとなります。基準を統一することで、**ASCの意図**がより明確になり、業界に対する要求事項がより一貫したものとなります。

## 有効性と効率性

一貫した指標を適用することで、監査時のばらつきや主観性を減らすことができます。単一の**ASC養殖場統一基準**によって、より効率的な改訂が可能となり、新しい種、地域、生産システムの追加もより迅速に行うことができます。

## 妥当性

すべての種や生産システムにおいて改訂が容易になるため、時代に合致した**基準を維持**できるようになります。

## 影響

一貫性、関連性、効率性が向上した**ASC養殖場統一基準**により、養殖場の種類や規模を超えた**影響の追跡**が可能になります。

# 参加方法はこちら



紹介ビデオを見て、プロジェクトの概要をつかみましょう



ASC養殖場基準について深く掘り下げる、もしくは興味のあるトピックに焦点を合わせましょう



質問がありましたら、あなたの地域のASCチームにお問い合わせください

あなたはどうか  
考えますか？

フィードバックを生で伝える  
オンラインセミナーへのご登録はこちら  
アンケートにご協力ください

SNSで

この情報を共有して



ください

# 追加資料



主要資料の翻訳

[Link](#)

ベトナム語

日本語

中国語

スペイン語

ドイツ語

フランス語

養殖基準比較ツール

[Link](#)

よくある質問

[Link](#)

# 今後の予定



透明性	透明性への取り組みの一環として、協議のフィードバックはASCのウェブサイト等で公開されます。ASCは、フィードバックをお寄せいただいた方のリスト(お名前と所属のみ)を公開しますが、コメントの出どころは特定されないようにします。また、個人情報と回答者がリンクされることもありません。
改訂	いただいたご意見をもとに、 <b>ASC養殖場統一基準案</b> を改訂します
最終コンサルテーション	改訂案について <b>2022年9月／10月に最終的なパブリックコンサルテーション</b> を実施し、 <b>2022年9月～2023年3月に試験運用</b> を行います
発行	ASC理事会で承認された後、2023年の終わりに新しい <b>ASC養殖場統一基準</b> を発行します

# 基準統一化のタイムライン



## Alignment Process - ASC Farm Standard



\*ToR = Terms of Reference



# ASC養殖場基準



## 3つの原則



## 7つの付属資料

- 1 魚種のパフォーマンスレベル
- 2 データの記録と提出
- 3 リスク管理フレームワーク
- 4 労働条件に関する要求事項
- 5 略語と定義のリスト
- 6 土壌の浸透性
- 7 銅のサンプリング方法



## 原則 1

UoCは合法的に事業を営み、効果的な事業管理を適用する

### 具体的には？

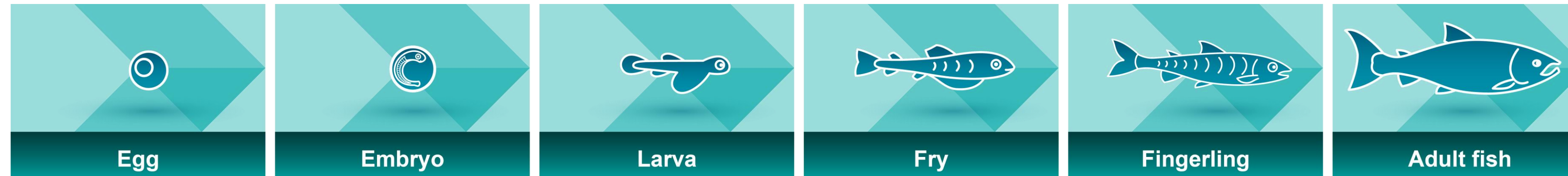
この原則は、認証を取得した養殖場が、認証書の有効期間内において、合法的かつ倫理的な事業を適切に管理し、ASCの要求事項に準拠することを求めています。

	判定基準	問い合わせ先
1.1	法令遵守	Clare Stevens – <a href="mailto:clare.stevens@asc-aqua.org">clare.stevens@asc-aqua.org</a>
1.2	管理システム	
1.3	企業倫理	
1.4	トレーサビリティと透明性のある情報開示	Wendy Banta – <a href="mailto:wendy.banta@asc-aqua.org">wendy.banta@asc-aqua.org</a>

# ASC養殖場統一基準の適用範囲 (2)



- 卵から成魚まで、完全なライフサイクルを反映します


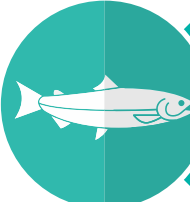



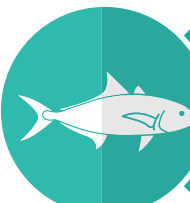

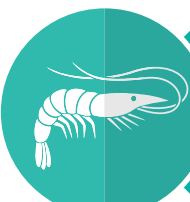
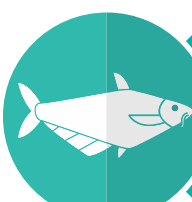
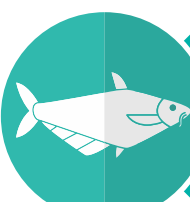
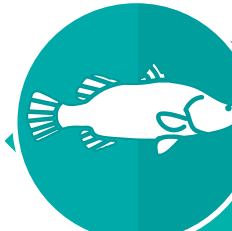


- 中間育成施設や孵化場はサプライヤーとみなされます

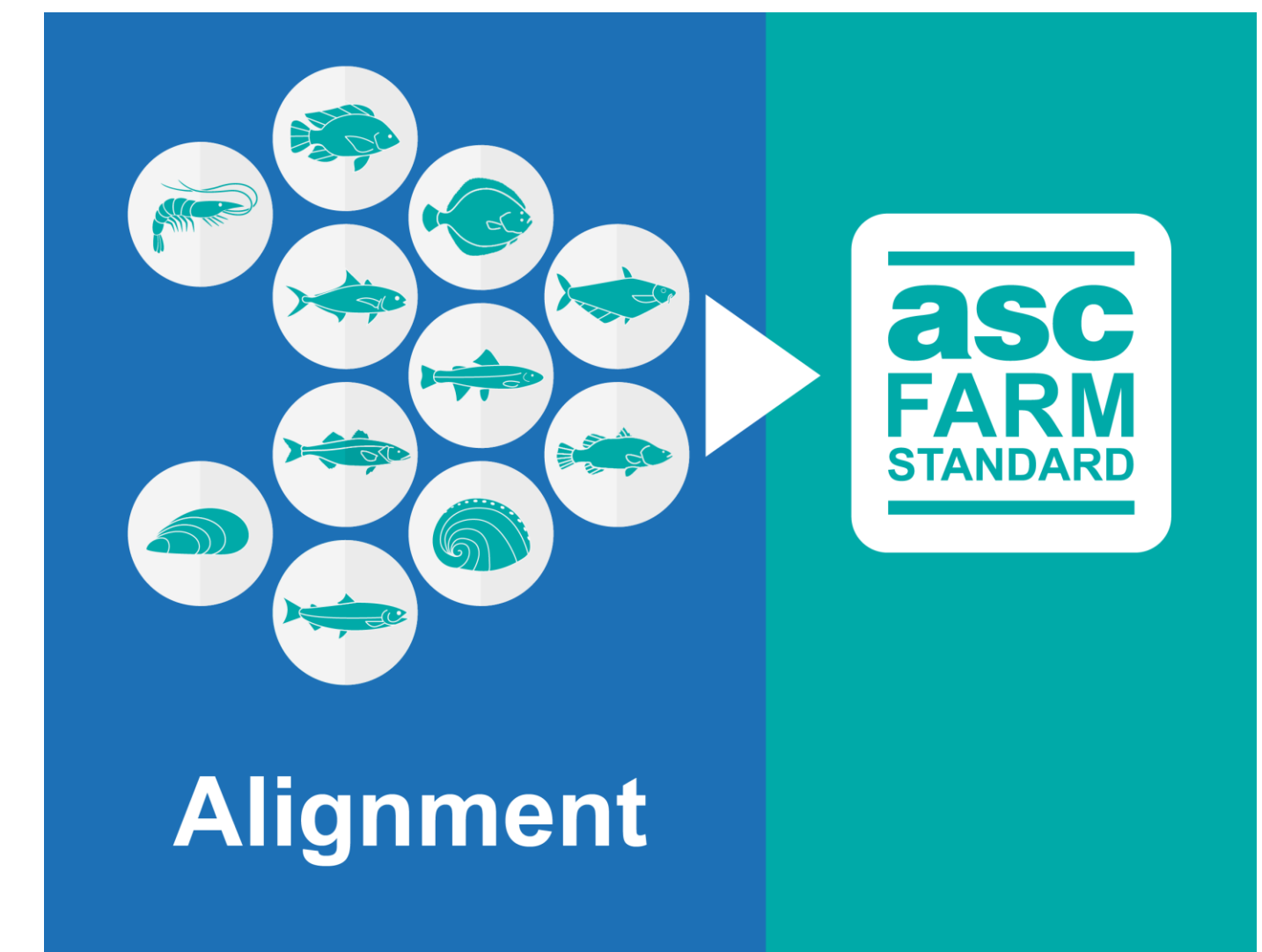


# ASC養殖場基準の適用範囲 (1)

- ASC養殖場統一基準は、まず現行のASCプログラムの対象となっている11種を網羅します。

 アワビ	 サケ
 二枚貝	 スズキ・タイ・オオニベ
 カレイ目の魚類	 ブリ・スギ
 淡水マス	 エビ
 パンガシウス	 ティラピア
 熱帯魚類	

- ASC養殖場基準では、これまでよりも迅速に新種を追加することが可能になります。





## 原則 2

UoC は環境に対して責任のある方法で事業を営む

### 具体的には？

水産養殖は、他の食料生産システムと同様に、インプットとアウトプットのバランスを生態系の働きに依存しています。適切に管理されず、過剰利用された場合、環境許容量を超え、環境に悪影響を与える可能性があります。

	判定基準	問い合わせ先
2.2	生態学的に重要な生息地	Jill Swasey – <a href="mailto:Jill.Swasey@asc-aqua.org">Jill.Swasey@asc-aqua.org</a>
2.3	UoCは野生動物との関わりを最小限に抑える	
2.4	UoCは新しい外来種の養殖を避ける	Renee Hamel – <a href="mailto:Renee.Hamel@asc-aqua.org">Renee.Hamel@asc-aqua.org</a>
2.5	エスケープ(脱走)	Michiel Fransen – <a href="mailto:Michiel.Fransen@asc-aqua.org">Michiel.Fransen@asc-aqua.org</a>
2.6	底生生物への影響	Javier Unibazo – <a href="mailto:Javier.Unibazo@asc-aqua.org">Javier.Unibazo@asc-aqua.org</a>
2.7	水質	

## 原則 2

## 判定基準



	判定基準	問い合わせ先
2.8	塩化	Renee Hamel - <a href="mailto:Renee.Hamel@asc-aqua.org">Renee.Hamel@asc-aqua.org</a>
2.9	バイオソリッド	Kathrin Steinberg – <a href="mailto:Kathrin.Steinberg@asc-aqua.org">Kathrin.Steinberg@asc-aqua.org</a>
2.10	淡水の使用	Katherine Dolmage – <a href="mailto:Katherine.Dolmage@asc-aqua.org">Katherine.Dolmage@asc-aqua.org</a>
2.11	エネルギーの使用と温室効果ガス排出量	Robert Parker – <a href="mailto:Robert.Parker@asc-aqua.org">Robert.Parker@asc-aqua.org</a>
2.12	材料の使用、廃棄物及び汚染の管理	Javier Unibazo – <a href="mailto:Javier.Unibazo@asc-aqua.org">Javier.Unibazo@asc-aqua.org</a>
2.13	飼料	Alexandra Warrington – <a href="mailto:Alexandra.Warrington@asc-aqua.org">Alexandra.Warrington@asc-aqua.org</a>
2.14	魚の健康と福祉	Javier Unibazo - <a href="mailto:Javier.Unibazo@asc-aqua.org">Javier.Unibazo@asc-aqua.org</a>
2.15	寄生虫コントロール	
2.16	抗生物質及びその他の動物用治療薬	Michiel Fransen - <a href="mailto:Michiel.Fransen@asc-aqua.org">Michiel.Fransen@asc-aqua.org</a>
2.17	孵化場及び中間サイト	Katherine Dolmage - <a href="mailto:Katherine.Dolmage@asc-aqua.org">Katherine.Dolmage@asc-aqua.org</a>
2.18	エリアベース管理	Michiel Fransen - <a href="mailto:Michiel.Fransen@asc-aqua.org">Michiel.Fransen@asc-aqua.org</a>



## 原則 3

UOCは社会に対して責任のある方法で事業を営む

### 具体的には？

サプライヤー・加工を含む水産養殖業は、世界中の何百万もの人々に食料、雇用、収入を提供しています。この産業は、特に養殖場や加工施設での労働集約的な作業が多いことが特徴で、労働者のほとんどが経済発展途上国で雇用されています。

原則3の意図する結果は、ASC認証を取得した養殖場が以下の社会的責任を持って運営されることです。

- すべてのジェンダーが対等に扱われ、平等な機会が与えられること
- 労働者の権利が尊重されること
- 労働者の労働・生活環境が適正であること
- 近隣の地域社会や先住民との交流が建設的であること



### 原則 3

### 判定基準

	判定基準	問い合わせ先
3.1	権利の意識	Clare Stevens clare.stevens@asc-aqua.org
3.2	強制労働、債務労働、拘束労働及び人身売買	
3.3	児童労働	
3.4	差別	
3.5	健康と安全	
3.6	団体交渉と結社の自由	
3.7	透明性の高い契約	
3.8	賃金	
3.9	労働時間	
3.10	職場での行動への対応	
3.11	従業員の収容	
3.12	苦情処理メカニズム	
3.13	コミュニティへの貢献	



# お問い合わせはこちらまで



## Marjolein van Gendt

ASCプロジェクト・コーディネーター ASC養殖場統一基準

[marjolein.vangendt@asc-aqua.org](mailto:marjolein.vangendt@asc-aqua.org)

+31 30 2393110

ASC (水産養殖管理協議会)

Daalseplein 101 | 3511 SX Utrecht The Netherlands (オランダ)

[www.asc-aqua.org](http://www.asc-aqua.org)



ありがとうございました

